

**令和5年度  
第1回藤島地域振興懇談会  
会議録(概要)**

期 日：令和5年7月25日(火)

場 所：藤島庁舎3階 大会議室

## 第1回藤島地域振興懇談会会議録（概要）

- 日 時 令和5年7月25日(火) 18:00～20:15
- 会 場 藤島庁舎3階 大会議室
- 出席委員（五十音順） 12名  
池田 玲子、板垣 一紀、大沼 富美雄、近藤 直志、今野 良和、  
齋藤 金廣、齋藤 直美、佐藤 智信、高山 千代子、疋田 勝幸  
丸山 裕司、萬年 義憲
- 欠席委員 2名 島崎 紅美、鈴木 結花
- 市側出席職員  
〈藤島庁舎〉 支所長 成田 讓  
総務企画課長 小林 雅人  
市民福祉課長 出村 真一  
産業建設課長兼エコタウン室長 齋藤 敬子  
農業委員会事務局長 伊藤 幸  
総務企画課課長補佐 後藤 春雄  
総務企画課地域まちづくり企画調整主査 齋藤 優  
総務企画課主査 村田 喜栄  
〈企画部〉 政策企画課政策企画専門員 帯谷 友洋  
地域振興課地域振興専門員 齋藤 真一
- オブザーバー 山形県立庄内農業高等学校 教頭 五十嵐 真徳
- 傍聴者 1名
  
- 次 第
  1. 開 会 （小林 雅人 総務企画課長）
  2. あいさつ （成田 讓 藤島庁舎支所長）
  3. 自己紹介
  4. 会長、副会長の選出について
  5. 報 告 （成田 讓 藤島庁舎支所長）
    - (1) 藤島地域教育振興会議の経過報告について 報告資料 1-1、1-2
  6. 説 明 ・ 協 議
    - (1) 令和5年度藤島地域主要事業について 資料 1-1、1-2
    - (2) 第2次鶴岡市総合計画基本計画の中間見直しについて  
資料 2-1、2-2、2-3、2-4、2-5、2-6
    - (3) その他
  7. 閉 会

○ 会長、副会長の選出について

懇談会設置要綱第1条第1項、委員の互選により会長に萬年義憲委員、副会長に高山千代子委員を選出した。

○ 説明・協議

(1) 令和5年度藤島地域主要事業について 資料1-1、1-2

－説明－ 総務企画課長 小林 雅人

市民福祉課長 出村 真一

産業建設課長兼エコタウン室長 齋藤 敬子

総務企画課地域まちづくり企画調整主査 齋藤 優

農業委員会事務局長 伊藤 幸

【資料1-1、1-2の説明】 ※ 説明内容省略

**萬年会長**

令和5年度の藤島地域主要事業とまちづくり未来事業等についてご意見・ご質問をいただきたいと思います。

ないようでしたら、庄内農業高校の庄農うどん等に対して予算化されて補助が出るわけですが、活動についてちょっとお話し頂ければと思います。

**五十嵐庄内農業高校教頭**

私は今年度に赴任してきたばかりですが、庄農うどん大作戦につきましてはうどんの品質向上のことや、供給量をもっと増やして欲しいこと、ブランド価値を上げるための取り組み等について、様々なご意見を頂きながら取り組んでいると伺っております。

**萬年会長**

出羽商工会で庄農と共同して取り組まれています、なにかありましたらお願いします。

**委員**

年々参加する飲食店が増えていて、庄農でうどんを供給するのが大変になっている程の反響があります。商工会としても、地域の活性化になっていることをすごく喜んでおります。

**成田支所長**

私が産業建設課長の時から庄農うどん大作戦が始まったので、去年の活動を紹介させていただきます。

年々、この庄農うどん大作戦に取り組んでいただける商店が増えています。特徴は、各商店が自分のお店の味を出して地域のお客さんを誘導しているところでして、去年からは高校生が実際に店舗に立って接客などの社会体験も一緒に積んでいて、地域の方に非常に好評です。提供食数は限られていて、店によっては1時間30分で完売してしまう状況がここ2~3年続いている状況です。

また、高校生が自分たちの体験を発表する全国農業クラブという大会があり、昨年、庄農うどん部の活動を発表した生徒が山形県大会で優勝し、東北大会でも優勝し、全国大会で4位になりました。このように、地域に出て行く体験が自分の将来の目標の源になっていることや、高校生の前向きな姿を藤島での活動と一緒に広く全国に知らしめて頂いたということで大変ありがたく思っています。

庄農うどん大作戦は、高校の知名度を上げて入学者を増やし、農業後継者を増やすことが第一義なのですが、それと同じくらいに地域に経済的な効果や活力を与えて頂いている活動だと思っております。

## 委員

庄農うどん大作戦には私の店も参加していますが、それなりに人気があり、土日限定のメニューですがほぼ完売します。庄農の皆さんが手伝いに来てくれて、実習を兼ねてやっておりますので、お客さんから見ると大変良い取り組みだと評価されていると思っております。

お聞きしたいのはまちづくり未来事業の関係です。私が当初合併して議員をしていた頃、市長に庁舎が本所に1回ずつ頭を下げて予算をくださいと言わなくても支所長の権限で予算を使える仕組みをつくれぬかという話を何回もしたけれども実現しませんでした。皆川市長に変わってからできるようになりました。本所・旧鶴岡が幾ら頑張っても、周辺の旧市町村が良くならなければ鶴岡全体は良くならないのです。そこに力を入れていくことがこれから一番大事だと私は思っています。まちづくり未来事業は基金をもとにしてやるわけですが、これから予算規模も、少しずつ増やしていきながら、藤島なら藤島、羽黒なら羽黒の独自の多様性を発揮していくという方向性で頑張ってもらいたいと思っております。

文厚エリアはこれから重要な地域の課題の一つになるわけで、内部検討会議を今年度中に立ち上げるということですが、この時期については、教育振興会議の取りまとめができた後に内部検討会議を設置していくのか、あるいは今からいろいろな想定をしながら取り組んでいくのか、その辺の取り組みについてどのように考えているかお聞きしたいと思います。

それから、大事な子育て支援事業の中身についてです。私は中町の町内会長をこの3月までやっていたので藤島児童館の運営委員もしておりました。新しい課長も今の状況を見たと思いますけれども、子供たちの数は増え、施設は老朽化で手狭な状態をいつまで

続けていくのでしょうか。プレハブを設置すればいろいろな課題に対応できるはずですが全然話が前に進まない。やる気があるのか疑わしいと思っています。予算の関係でできないと言ってしまうとそれまでの話ですけれども、小中一貫校といずれ一緒にと考えているとすればまだまだ先の話です。いつまでそのような状況を続けていくのですか。これでは子育て支援事業を立派にやっていますとは言えないと思います。これからどのように取り組んでいきますか。

#### **小林総務企画課長**

文厚エリアの件でございます。教育振興会議は全7回の予定で今5回目が終わり、残り2回となっています。今後の方向性がある程度見えた段階で、教育振興会議の進捗状況を見ながら適切な時期に遅れることなく内部検討会議を立ち上げて、内部で検討していきたいと考えております。

#### **出村市民福祉課長**

藤島児童館には何度も足を運んでおります。学童の老朽化している状況も拝見しており、今の文厚エリアの検討の中に入っているわけですがけれども、一方で市の学童保育の整備方針もございまして、耐震性や児童数に対しての床面積の不足ということで整備・建て替えの優先度は高くなっております。現在、第三学区・朝暘三小の学童の整備をしておりますけれども、次いで京田地区、その次に藤島地区の学童について整備の優先度が高くなっております。

そういったことも含めまして、文厚エリアの検討と並行していくわけですが、学童の早急な建て替えについての必要性は十分に認識しております。

#### **委員**

狭い中で、遊べない、預かれない状況にあるわけです。敷地はある訳なので、一時的にプレハブを置くなどして解決していかなければ、事故が起きてからでは遅いと思います。本当は多目的室というか広い部屋を利用して、伸び伸びと遊ばせる場所なのだけでも、そういう場所が無いために、そこを仕切って子供たちの場所になっているのが実態です。建て替えまで暫定的に対応を考えて頂けないか。

#### **委員**

藤島児童館の件は私もちょっと心配したところでした。かなりの大人数があの狭い場所に集まってくるということで、トラブル等もあるように聞いております。

渡前地区の住民からは、わざわざ放課後タクシーを使ってあそこに集める必要があるのか。学校が終わったらすぐ近くの施設で放課後を過ごしてもらおうようなスペースをつくれなのか。それは既存の施設でいいと思うし、活動センターとその隣にある旧渡前児童

館、今の民具館も利用できたらという意見があります。新しく建てかえるのは相当先の話なので、同じ敷地内にプレハブを作るとか、あるいは既存の近くの学校の施設等を使って対応する方策等も考えられると思いますので、併せてご検討頂ければ大変有難いと思ったところです。

#### **出村市民福祉課長**

藤島児童館では学童保育が、子どもが多く活動しメインになっておりますけども、本来の児童館としては、子供が自由来館できる機能や子育て支援センターの機能がある訳です。そういった機能を今後どうしていくかも含め、市主管課の子育て推進課と合わせて、至急に検討していきたいと思います。

#### **委員**

中町町内会でふれあいセンターの指定管理を受けています。子育てでも何かに活用しているようですが、毎日びっしり使っている状況でもないので、ふれあいセンターをもっと有効に活用したほうがいいと思います。

#### **萬年会長**

児童館には大きな課題があるようですので、将来に向けて検討頂ければと思います。

#### **委員**

これからコロナがある程度収束して、庄内の方にもいろいろと人の動きが全国的にも世界的にもあるかもしれませんが、せっかく Hisu 花（ヒスカ）があり、いろんな可能性がまだまだあると思うので、その中でペレットストーブや薪ストーブとかを冬場に展示してみるとか、柔軟に取り入れていただくような形で、藤島全域で盛り上げて頂ければよいと思います

#### **萬年会長**

Hisu 花については、昨年度もいろいろ議論がありましたので、その辺についても活性化に向けて取り組んでいただければと思います。元町町内会の要望事項の中でもいろいろ提案があったと思いますが、もうちょっと子供たちの遊べる場所にして欲しいなと思います。例えば美咲公園には、いつ行っても子供たちが溢れていますが、あのような形での活用ができないか、また、ふじの花まつりとかのイベントに使うばかりでなく、子供たちとか保護者の皆さんと一緒に使える遊びの場所にしたらという要望もありますので、この辺も考えて頂ければ思っております。

#### **齋藤産業建設課長**

Hisu 花歴史公園の利用につきましては、ペレットストーブの展示とかは検討させていただきたいと思っておりますし、火気の利用はいろいろ制限等がございますけれども、通常の公園利用では開放しておりますのでご相談いただければと思います。

あと、子供の遊具の設置は、市の公園の整備の方針に基づき、歴史公園への遊具設置は現状では考えておりません。藤の花にある芝生広場に遊具が若干ありますので、そちらの方も活用しながら検討していきたいと考えている状況です。整備の予算の都合もありますが、文厚エリアなどのこれからの整備というのも、今現在、中学校小学校の地域が核となると思われますので、そういった活用の方向で検討をしていきたいと考えているところです。

### 成田支所長

補足をさせていただきます。

公園管理は、本所都市計画課が所管しており、3・4年前に方針を出しています。合併して公園が多すぎて遊具が溢れていて、修繕等に手が回らない状況になっておりますが、今後は地域に遊具公園を一つ整備していく方針を持っており、個別の遊具の細かい補修はしないで遊具を集約していきたいという考え方のようです。

この議論は前回のメンバーの時にもありまして、藤島庁舎としては芝生広場の脇の遊具の場所をそういった拠点の場所にしていきたいということでこの会議で報告をさせていただきます。

もう一つ、最近動きが出てきておりまして、子育ての所管課の方では、市内全域に遊び場ということで、いろいろ考えていきたいという構想を持っているようです。これはまだ構想段階で、子育てのための公園とか、或いは三川町のテオトル、屋内の遊び場ですがああいっただのものを全市的に考えていきたいというところはあるようです。

特に今年になってから、子育て真ん中社会ですとか、子育てがクローズアップされていますので、そういった動きが市全体の動きとしても今後出てくると思います。

遊具の拠点は芝生公園ということでコンセンサスをとって、庁舎としても力を入れていきたいと考えています。

### 委員

Hisu 花で遊びに行こうとしたとき、車をどこに停めていいのかと思うのです。隣の商工会や庁舎の駐車場を使っていいのかもわからないし、なかなか使いづらい場所だと感じていました。

国指定の史跡になった東田川郡役所との一体感を出して、あそこの駐車場をもっと利用しやすい形で公園とつなげると、車で来る方も便利だし、子供を広いところで遊ばせる環境になるのではないか思っております。郡役所のライトアップとかも含めて、広くいろいろな方々に向けて、駐車場の使い方など認知度を高めるような動きをしていただくと、

Hisu 花も郡役所も生きてくるのではないかと思いました。

#### 萬年会長

ありがとうございます。その辺のことを配慮していただければと思いますので、よろしくをお願いします。

#### 委員

農業振興のいろいろなイベント、子供たちの農業体験や元気食楽部の支援ということで感謝しておりますが、堆肥センターのことで一つお願いしたいと思います。土づくりは堆肥が基本であり、今年秋にも多くの堆肥が散布される予定ですが堆肥を入れる1トンパックフレコンが足りないという話を聞いております。その辺についても充実した支援をよろしくお願いしたいと思います。

#### 齋藤産業建設課長

堆肥の散布に使用するフレコンパックにつきましては、必要数量を調達するというところで心配ございませんので、安心して土づくりをお願いしたいと思います。

#### (2) 第2次鶴岡市総合計画基本計画の中間見直しについて 資料2-1～2-6

－ 説明 －

－説明－ 政策企画課政策企画専門員 帯谷 友洋  
総務企画課課長補佐 後藤 春雄

【資料2-1～2-6の説明】 ※ 説明内容省略

#### 萬年会長

ただいまの説明にありました通り、今後5年間の中間見直しということになるわけですが、今までの5年間の事業の評価、そして、これから社会情勢等の変化に伴って少しずつ直していく必要があるということで見直しになっているわけですが、今回提案されました内容につきまして今後の藤島地域において力を入れて取り組んでいかなきゃならないところ、また、或いは不足しているところについて全体を眺めて頂きながらご意見をいただきたいと思いますがいかがでしょうか。

#### 委員

何点かお尋ねしたいと思います。

6ページの部分です。暮らしやすい藤島を実感できる生活基盤の再構築、主な施策の中の②として現基本計画の方で、子育て世代から定住先として積極的に選択してもらうため



に効果的な施策について検証していきますという表現になっていたわけですが、その検証の結果どうだったのかということをお伺いします。

それに関連して、検討中の後期基本計画の体系の二つ目のマルが子育て世代から選ばれる地域を目指した効果的な支援策等の検討ということです。これまで効果的な政策をとってそれを検証してきたわけで、言葉尻をとらえるようで申し訳ないんですが、その効果的な支援策等の検討というのを、これから支援策を検討するような後退するような意味合いにとられかねないか。この表現でいいのかどうなのかといった部分をもう少し具体的に考えていることをお聞きしたいと思います。

3点目は7ページ、防災に絡んでです。後期基本計画の中の二つ目に、各地区地域活動センターの防災資機材庫の整備とあります。防災資機材庫については、八栄島と渡前地区には、資機材倉庫を室内に設置して頂いております。長沼地区につきましては、建物の中に機材倉庫がきちっと一室立派なものがすでに整備されています。東栄地区につきましても、建物の体育館の影の方にあり、そちらに資機材がきちんと保管になっているようです。藤島地区だけがちょっとはつきりしませんが、それなのにこれから資機材倉庫を整備するのか。もうすでにほとんど出来ているのに後期の基本計画の中に入れる必要があるのかと。それよりだったら、もっと安心して安全な避難ができる施設の整備をお願いしたいと思っています。

とりわけ渡前地区につきましては、赤川が氾濫したときに一次避難所の活動センターが水没60センチ、二次避難所の渡前小学校がそれよりもひどくて80センチの水没になる。建物自体を作り変えるのが困難だとすれば、水に浸からない状態で安心して避難できるような形に変えていただきたい。道路を整備するなり、或いは体育館の床を上げていただくなり、そういった形での整備を早急にして頂く方がよほど安心して住めるまちづくりになると思ったところですので、その辺ちょっとご検討を頂ければと思います。

## 萬年会長

この件に関しては昨年度も検討して頂いていろいろ出されている議題ですし、この辺も考えて頂きたいと思いますのでよろしくお願いします。

評価の方はどうなっているかについての回答をお願いします。

## 成田支所長

子育て世代の部分に関しては、大変申し訳ないことですが、庁舎として具体的に主体的に取り組んだ活動がこれまで無かったのが実態だと思っています。

これは全市的な課題にもなっておりますので、今委員から言われたことについては、本所ともう少し詰めた部分で、地域としてできる現実的な支援策をしっかりと考えて、後期計画に向け適切な目標設定の表現にしていきたいと思っています。

子育て世代から選ばれる地域を目指した効果的な支援の検討の部分についても、表現を

もう一度適正に考えていきたいと思います。

## 委員

学校給食における地産地消の向上と食農教育の推進とあります。今まで、学校給食に農協の加工所から味噌を納入していましたが、今年度からは味噌を納入できなくなるという話を聞きました。

子供たちは授業で大豆を作っていますよね。それを農協の加工場に持ってきてもらうと、そこで味噌を作ることもできますし、それを見て勉強にもなるんです。そういうこともやってみたらいいのではないかなとは思っています。

## 齋藤産業建設課長

私も以前、ふれあい食センターの方に勤務しており、農協女性部の皆様から、給食での味噌を使用させて頂いておりました。

現在の味噌の調達につきまして、給食センターの方針がどのようになったについては承知しておりませんので、この場でははっきりお答えできませんが、藤島庁舎で取り組んでいる地産地消といいますと、主に野菜の納入についてサンサン畑の会との取り組みになります。

加工品につきましては加工施設のできた経過と、給食センターができたときの取り組みによって、特別に納品させていただいているものと承知しています。

J Aの加工施設につきましては、研修施設ということで販売免許のない施設でありまして、現在どのようになっているのか承知はしておりませんが、そちらの研修施設の使用につきまして、子供たちの大豆の取り組みは、学校と藤島活動センターの取り組みにもなっておりますので情報提供して参りたいと思います。

## 委員

農業振興の関係で、タイトルが水田農業革命の実現ということで、だいぶ大きく出たな、やる気だなと思って評価していましたが、これはやめたということで、穏やかな表情に変わったみたいだけでも、私から見るとやる気を後退させたようなイメージがします。そうではないと思うんだけど、なぜその水田農業革命というビックなタイトルが無くなるのかと素朴に感じました。

それと町の時から、藤島は農業関係機関が集積しているというのが大きい特色だとずっと言い続けてきたわけですが、そこの連携・協力関係がなかったのではと思います。いろいろな協力関係をもっとやってこなければならなかったと思うのです。例を挙げて恐縮ですけども、藤島地区地域活動センターの前のテナントで、オランダの方がエナジーバーを作りました。どこで試行錯誤したのかを聞くと、余目のクラッセで機械を使わせてもらって、いろいろ試験をして製品化したということでした。そういう加工研究施設がこの

地域にあるのかわかりませんが、もしあるならば庄内町に行って研究試験をする必要はないわけなので、これからどのように取り組んでいくのかと思いました。

また、農業高校との連携は本当に大事ですが、今は残念ながら、昔の農業後継者の育成校としての様相とはまるっきり違います。うどんの販売の時、生徒たちに質問したら鶴岡市内で一般の家庭からだそうです。農家からの子弟が本当に少なくて、これで農業後継者の育成機関と本当に胸張っていえるのかと思います。ただ、地元に残る率は大きいので、そういう意味では大事にしていかなければならないと思います。表現の仕方も昔から同じなので、そのへんも少し表現を変える必要があるのではないかと感じました。

### 成田支所長

「水田革命の実現」については余りに壮大だったので、もっと地に足をつけた形での目標設定がいいかなとこのように変えたところです。

ただ、水田活用というところにはこだわらせて頂いて、藤島はこの田んぼが武器ですから、この田んぼを使って機械を使ってやっていく。例えば、これは元気食楽部の活動にも繋がるのですが、本気で小麦代替での米粉を使っていく取り組みですとかを藤島水田活用というところにこだわってやっていきたいという目標は持っています。寂しくなったかもしれないですが、ご理解頂きたいと思います。

それから、普及課或いは試験場との連携について、私は後退したとは実は思っていない。例えば、これも元気食楽部の話で恐縮なのですが参加している農家には、普及課で土壌分析をやってもらっていますし、試験場と一緒に講師派遣の協力を頂いたりもしています。ここ3年ほどはコロナ禍で活動のペースを落とさざるを得なかったこともあって、そういった連携が見えにくかったと反省はしておりますが、もっと活動が見えるように展開していきたいと思っています。

表現はもう一度読み直して考えたいと思います。

### 委員

農業経営に関する意向調査が私のところにも届きました。私は農業を委託していて農業経営者でも無いのですが、何を書いたらいいかわからないような調査をしても意味がないと思いました。

あと、去年、渡前の体育館の雨漏りをとりあえず直していただき、本当にありがとうございます。そのときに、雨樋があちこちみんな割れて穴が開いているのに、高いお金を使って足場を架けているのに、何で一緒に雨樋の修理をやらなかったのか。今度、樋を直すときにまた高い足場を架るのかと感じました。もうちょっと有効に予算を使って頂きたいと思っています。

### 齋藤産業建設課長

農業委員会のアンケート、意向調査につきましては、30アール以上の農地を保有される方についてアンケートをしたということで、記載例も一緒に同封されていたと思いますので、それを参考に記入し出して頂くということです。今後10年間の農地の使い方について、自分の農地を引き続き貸すということであれば、引き続き貸していきたいというような内容を書いて頂きますと、地域計画に反映させて頂き、農地の集積等にも活用して頂けるというような意向調査になっていると思います。ちょっとわかりにくいかとは思いますが、できる範囲で記入して返送して頂ければと思います。皆さんから提出して頂かないと、地域計画というものをしっかり作るための話し合いのテーブルに乗せられないということもございますので、皆様からご理解頂いて、この藤島地域の農地を10年後、どのように使っていくかという将来像の話し合いのための意向調査ですのでよろしくお願いしたいと思います。

### 萬年会長

予算の使い方については予算上の都合もあるでしょうし、有効に使っていくことは皆さんやって頂いてると思いますので、今後も努めて頂きたいと思います。

先ほども言いましたように継続した議論の必要な事項ですし、次回またあると思いますので、ここで打ち切りたいと思いますがよろしいですか。

皆様から貴重なご意見を頂き本当にありがとうございました。本日の協議をこれで終了させていただきたいと思います。事務局にお渡しします。

### 小林総務企画課長

萬年会長、スムーズな議事運営ありがとうございました。

そして委員の皆様からは様々なご意見を頂きましてありがとうございました。特に総合計画等は今日頂いたご意見を基に修正する部分もあるかと思えます。今日頂いた意見を参考に手直ししていきたいと思えます。

(3)のその他について何かございますか。

### 委員

8月6日に藤島の夏祭りがあります。近年、コロナ禍で行われなかった焼肉フェスティバル等を従来通りの形に戻して大々的にやりたいと思っておりますので、観光協会としてよろしくお願ひします。

あわせて8月5日、6日にたわらやでイベントを行います。イベント自体は昨年も行わせて頂いて、2日間で1,200人ほど来店いただきました。今回はFM山形さんと共同企画で生中継を5日の夕方6時から7時まで行います。その際に支所長から全県に向けて、藤島はこういうところだよというようなお話をさせていただきますし、斎藤課長からも翌日の藤島の夏祭りに来てくださいねというようなPRを全県に向けて行っていただく予

定にしております。ぜひ皆さんも FM 山形聞いてください。

あと、放送の後にレディオサイエンスというグループが、生ライブをしてくれます。これには相当多くの人があると知っているところです。

藤島の PR を大々的にやっていきたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

### 出村市民福祉課長

今日、ぽっぽ通信のチラシをおつけしております。この夏、8月11・12・13日は子ども夏祭り企画ということで、お子様対象にわたあめプレゼントですとかを用意しておりますので、ぜひご利用いただければと思います。

加えまして、今年4月以降に食堂が「田んぼの台所」ということで新しくなっております。夜のメニューに岩ガキ、穴子寿し等提供しておりますので、ぜひご利用いただければと思います。よろしく申し上げます。

### 委員

ぽっぽの湯のご利用大変ありがとうございます。資料にありますように全戸に回覧しておりますけれども、なかなか思い通り行き届かないところがございますので皆さんからもご利用をお願いしたいと思います。

また先日、テレビ朝日の方で魚が食べたいということで、全国放送でぽっぽの湯が紹介されましたことを報告させて頂きたいと思っております。

いろいろな面でご利用のほどよろしく申し上げます。

### 委員

中学校 PTA からの要望です。内容は、学校周辺の通学路についてです。

中学校前の五十嵐米造商店前の通り、武道館の西側の通りには歩道はあるんですけども、自転車で通学する生徒もいます。通学時間の時、通勤の車も多いんです。生徒数は減ってきて、昔と比べれば人数が少なくなっているんですけども、やはり一人一人大切な命であります。

その通学路の道路を、いわゆるスクールゾーンという形で舗装または表記するなりして、ドライバーに注意喚起する表示とか舗装とか、色をつけていただくといった手だては、どこに要望するのか分からなかったものですから、教えていただければと思います。

地元の人以外も通るわけですので、そういった表示なりをしていただければなということです。

### 成田支所長

スクールゾーンなどは公安委員会との協議が必要になる可能性がありますので、そこは

担当の方に調べさせて委員に連絡させていただきます。

## 委員

今の交通安全対策の関係でお願いしたいです。役場庁舎前の道路で、2回続けて事故があり、1つは死亡事故に繋がったということです。町内会としても、交通安全期間の立哨活動を7時半から8時頃まで、主に小学生を対象にしてやっています、そこでいろいろな意見が出るんですけども、遠くから来た人は、どっちが優先道路かわからないというのが実態です。庁舎の北西角、出羽商工会支所前の十字路につきましても、大きな事故に繋がらなかったわけですけども車がひっくり返っていて、停止の標識がよくわからないままに突っ込んでいくということなんです。

庁舎前の道路が優先道路で、脇の笹花の方から来る道路が止まれとなるわけですが、赤色灯はついているけれども日中はなかなかわからないので、止まれと書いて表示すればある程度事故は防げるんじゃないかと思います。スクールゾーンも同じで、事故が起きた場所については、停止線だけじゃなく止まれの表記もぜひしてもらえるように、庁舎の方から働きかけてもらいたいです。

## 小林総務企画課長

この件については高橋淳県議にも死亡事故があった後に、現場確認して見て頂きました。公安委員会の管轄だと思いますけども、確かに標識はありますけども、道路の方の表示がありませんし、特に本当に今回の交差点の事故は、県外ナンバーが一時停止を怠ったこともありますので、安全のために改善できるような関係者に働きかけたいと思います。

他にございますか。無い様ですので、令和5年度第1回藤島地域振興懇談会を終了させていただきます。